

探究基礎(1学年)で課題研究の中間発表会が行われました！

10月15日(金)第5・6校時に1学年の探究基礎で取り組んでいる課題研究の中間発表会が行われました。テーマ毎に10のゼミに分かれて行い、その様子を講師の先生にも聴いていただき、その後アドバイスをいただきました。1月に行われるSSH成果発表会に向けて研究・発表準備を更に進めていきます。

指導して頂いた講師の紹介

- ・群馬大学共同教育学部理科教育より3名
日置英彰 教授、青木悠樹 准教授、
佐藤綾 准教授
- ・群馬大学理工学府より3名
大澤研二 名誉教授、天羽雅昭 教授
石飛宏和 助教
- ・群馬大学情報学部より1名
柿本敏克 教授
- ・共愛学園前橋国際大学より3名
後藤さゆり 副学長・教授、
西川正也 副学長・教授、岡井宏文 専任講師



講師からのメッセージ(抜粋)

- 仮説を確かめるために信頼できる調査方法かどうかを、一旦振り返る機会があると良いかもしれません。
- プレゼンテーションが上手で驚きました。受け答えも明確でした。
- 「先行研究にあたる→その上で取り組む課題を絞る→課題に対する仮説を立てる→調査計画を立てる」という流れを認識してほしいと思いました。
- 身近な問題意識から問いを立てているのが新鮮でした。興味深いテーマが多かったです。
- 根拠とした文献を明示し、詳細を引用文献リストとして示すことは大切です。というのも、先行研究が一枚岩であるとは限らず、結果が一貫していない場合もあるからです。どの文献を根拠にした議論なのかを明示し、その根拠の強さを評価できるようにしておく必要があります。

今後の流れについて

今回の指導を踏まえて、ゼミ担当の先生やテーマに即した教科の先生の力も借りながら課題研究を進めていきます。1月に行われるSSH成果発表会では各班がポスター発表を行います。代表となった班のポスター発表はオンライン配信も予定していますので、配信の際には是非ご覧ください。